

平成23年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1473200895	事業の開始年月日	平成16年3月1日	
		指定年月日		
法人名	社会福祉法人まごころ会			
事業所名	グループホーム神田園			
所在地	( 241-0012 ) 横浜市旭区西川島町68-11			
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
	認知症対応型共同生活介護	定員計	18名	
		ユニット数	2ユニット	
自己評価作成日	平成23年12月1日	評価結果 市町村受理日	平成24年3月19日	

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者一人一人、状況に合わせた個別対応を心がけている。また利用者さまの気持ちや意思を尊重した利用者さま主体の個々の生活を重視し、何事も利用者さまの都合やペースを尊重し家庭に近い環境、雰囲気作りを大事にしています。
--

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社団法人 かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区本町2丁目10番地 横浜大栄ビル8階		
訪問調査日	平成23年12月16日	評価機関 評価決定日	平成24年3月13日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p><b>【事業所概要】</b> この事業所は、相鉄線鶴ヶ峰駅から徒歩10分程度の閑静な住宅街の中にある。周辺には畑や古い家屋などがあり、事業所前の道の交通量もそれほどでなく、静かな環境にある。 建物は2階建てで、共用空間、居室とも広々としている。そのスペースを活かし、ユニットごとにソファとテレビ、テーブルのセットを2カ所設置し、1人になったり、気の合った方向士で思い思いに過ごすことが出来るように配慮している。</p> <p><b>【利用者の自主性を重んじた暮らしの支援】</b> 事業所の理念に基づいて、利用者の自主性を尊重している。利用者は、自主的に利用者同士で日々の生活の中でのそれぞれの役割を決めて、分担して役割を果たしている。訪問時にも、利用者は声を掛け合いながら調理、配膳、盛り付け、机拭き等をしている姿が見受けられた。職員は、それを見守りながら、さりげなく支援をしている。</p> <p><b>【個別の外出支援】</b> 散歩や、全体でのイベントの他、かつての職場や住宅、卒業した学校に車で出かけるなど、個別の外出を積極的に行っている。また、GPS付きの携帯電話を持ち、一人で出かける方もおり、利用者の安全に配慮しながら、個別の外出を支援している。</p>
--

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム神田園
ユニット名	あさがお

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目：11,12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

事業所名	グループホーム神田園
ユニット名	ばら

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30,31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目：11,12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
理念に基づく運営						
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	研修を通じ実践できるようにしている	8年前の開設時に管理者が理念「グループホーム神田園大原則」を策定した。面接時に理念について説明し、共有できる人を採用している。また、理念の解説を作成し、新人研修で周知を徹底させている。ケアプラン作成時や職員指導の際に理念に立ち返って考えるようにして、実践につなげている。		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入している	経営者、管理者が当地の出身であることもあり、開設時より理解と協力を得ている。笠町内会に加入し、敬老の日等の行事に参加したり、お祝い品をもらったりしている。散歩時に挨拶を交わしたり、柿などを差し入れてもらうこともある。大正琴等のボランティア、中学生の体験学習等の受け入れも行っている。		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	検討し実施していく必要あり			
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	評価結果、利用情報など提供している	今年度は今のところ開催していない。メンバーは町内会副会長、地域代表、家族代表、管理者である。また、区がオブザーバーとなっているが、現在のところ参加は無い。	運営推進会議を定期的開催し、そこでの意見を運営に反映していくことが期待されます。	
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	実施している	認定更新時や処遇改善交付金の申請の際に区役所を訪問して、連携している。横浜市認知症高齢者グループホーム連絡会の旭、瀬谷区ブロック会に参加して、情報交換している。	区の担当者へは、運営推進会議への参加のほか、日常的な協力関係を築いていくための働きかけを継続することを期待します。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	研修時に身体拘束について学んでいる	身体拘束については、初めから行わない前提で利用者への対応を検討している。スピーチロック対策として、対話法の勉強会を開催した。また、玄関やユニット入口は施錠していない。	
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	研修時に高齢者虐待について学んでいる		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	今後、充実を図っていく		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	家族、利用者、スタッフと交えて話し合いを行い決定している		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	請求書内で情報提供、面会時に意見交換を行っている	リクエストシートを備えており、利用者・家族が意見を表すことが出来る機会を設けている。意向の表現が難しい方等の場合は職員が代筆する場合もあり、サービスに関することは、その場でケアプラン別紙に位置付け、対応している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	会議の形式はとっていない。必要時に随時行っている	年1回定期面接をしているほか、随時ミーティングを行って職員の意見を聞く機会を設けている。これまでに、喫煙所について意見があり、設置したケースがある。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	毎年、給与の見直し、個人面談を行い決定している		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	一人一人に細かな研修を行っている		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	検討し充実をはかる		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	困っている事、不安な事、を共有し受容に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の思いを傾聴し、良い関係づくりに努めている		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	そのように努めている		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	お世話させて頂いているという気持ちをもって家庭的な関係を築く努力をしている		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族との絆を大切にし、日常会話の中でも家族の話を取り入れ、関係性を築く努力をしている		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みのある物品や写真などを部屋に飾り、心の安定に努めている	かつての職場や住宅、卒業した学校に車で出かけている。墓参りや馴染みの美容室に、家族と一緒にいく方もいる。習字や判子作りなど、入居前からの趣味を継続できるような取り組みをしている。友人の来訪があったり、友人に手紙を送るなど、関係継続を支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士、食事の準備やゲームなどで仲間意識を高めている		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要に応じて行っている		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	思いや暮らし方の希望を十分に傾聴・受容し意向に近づくよう努力している	入居時にはセンター方式のアセスメント様式を使用して要望等を把握している。入居後は「リクエストシート」を用いて意見を吸い上げている。入居歴が長い方も多く、職員は、利用者ごとの癖や嗜好を把握し、共有するように努めている。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	日常会話から本人の過去の生活や出来事などを伺い、記録するなどしてスタッフが共有できるようにしている		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	心身状態、表情、気持ちなどを把握し、よりより一日になるよう努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>申込み時や空いた時間などに随時、検討し対応している</p>	<p>リクエストシートでの利用者の要望を基に、その都度計画書別紙を書き換えて、現状に即した計画としている。介護計画本体の見直しは、原則として6ヶ月に1回行っている。家族や医師からは訪問時に意見を聞き、介護計画に反映している。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>ケアプランを作成するにあたりスタッフと話し合い作成している</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>臨機応変に入居者のニーズに対応し、適した支援ができるよう努力している</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>近隣の飲食店、ケアプラザ、図書館、プール、バスなどの地域資源を活用した生活を支援している</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している</p>	<p>定期的な訪問診療時にきさくに会話することができ医師との信頼関係づくりを支援している</p>	<p>協力医を主治医としている。眼科、皮膚科、精神科等の専門医は原則として家族が対応しているが、必要な場合には職員が付き添うこともある。受診時に相談したり、受診に付き添った家族から話を聞くなどして情報を共有し、適切な医療を受けられるよう支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>介護士が分からない事をアドバイスを頂いたり、処置方法などをレクチャ頂いている</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時にはサマリーの提供のみならず、職員も同行し、日常生活や性格、認知症状の注意点などをお伝えしている</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>ご本人、ご家族、医師、現場の希望を話し合い、事業所として出来る事出来ない事を共有している</p>	<p>家族の希望があり、医師が許可すれば、看取りまで行う方針である。入居時にその指針を説明し、同意を得ている。その後も訪問時等に随時相談している。職員も方針を共有している。非常勤職員の看護師がおり、医師に随時相談もでき、医療関係者と連携できる体制がある。</p>	
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>マニュアルの作成及び各自の知識取得を促している</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>防災訓練を実施している</p>	<p>年2回避難訓練を開催しており、23年2月に夜間想定避難訓練を実施した。今年度は地域住民、消防署の訓練への参加は無い。備蓄については、米100キロ、水3リットル×人数分のほか、醤油、味噌、缶詰、水、パッド、救急箱、電池、木炭、ポンペを備えている。</p>	<p>消防署や地域の方の協力を得ながら訓練を実施するなどして、災害時の協力体制を築くことが望まれます。</p>

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人に合った話し方や言葉を選んで対応している	理念（神田園大原則）の「入居者は人生の大先輩、尊厳を大切に、多くを学ぶこと」を基に、居室のドア開閉の際の声かけ、浴室やトイレ使用時のプライバシー配慮を心掛けている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定して頂けるよう判断材料や適切な選択肢の提供を支援している		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者さまは人生の大先輩。一人一人をしっかり観察し、希望があれば実行できるようにしている		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	散髪や髪染め、お化粧品なども日常的に支援している。衣類もご本人の希望を促している		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	得手不得手を把握し、食事にまつわるお手伝いに気軽に参加頂けるよう支援している	配食業者を利用しているが、利用者から希望を聞いてメニューをアレンジしている。利用者は自主的に役割分担しており、訪問時も、利用者は職員と共に声を掛け合いながら調理、配膳、盛り付け、机拭き等をしていた。職員も同席し、利用者とは会話を交わしながら同じ食事を取っている。バーベキュー、散歩の途中に喫茶店に寄る、宅配ピザ、出張握り寿司等、食事を楽しむための支援もしている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	水分や食事摂取量を把握しながら健康管理にいかしている		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	食後のうがいや口腔ケアへの声掛け支援を行っている		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	一人一人の排泄パターンや習慣を把握して誘導している。また羞恥心や不快感を考慮して様々な種類の排泄補助具を組み合わせ支援している	排泄は時間・量・質を必要に応じてチェックし、排泄パターンを把握している。必要最小限な支援を心掛け、パットのサイズに配慮したり、風邪を引いた時のみパットを使用するなどの対応をしている。	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	水分・食事摂取量の把握と運動支援に取り組んでいる		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	一人一人の希望を優先し、強制せずに入浴できるよう支援している。CDを聞きながら楽しんで入浴される方もいる	少なくとも週2回は入るようにしている。時間は、利用者の希望に応じて、9時から16時ごろまでが多い。毎日の入浴を希望する方にも対応している。入浴しながらない方には、無理強いせず、自分で入浴時間を決めてもらうなどの対応をしている。入浴をレクリエーションの一環と位置付け、歌を歌うなど楽しめる入浴を心掛けている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	照度や物音への配慮、アロマや布団干し、アンカの使用などを支援している		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の目的や副作用などを知ることができるようにファイルにまとめて管理している		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の残存能力を活かし、楽しみや喜び、充実した日々を過ごして頂けるよう支援している		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	希望時又は声掛けにて、ショッピングや散歩など外の景色や外部とのつながりを支援している	散歩には、天気等に問題が無ければ出かけるようにしている。職員がマンツーマンで付き添い、15分程度時間をかけている。散歩時にバスに乗ったり、喫茶店でコーヒーを飲んだりすることもある。散歩が難しい場合も、ベランダで日光浴するなどして外気に触れるようにしている。GPS付きの携帯電話を持ち、一人で出かける方もいる。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者の希望を出来る限り尊重し、スタッフと共にお買い物などの支援や残高の確認などの支援をしている		

自己評価	外部評価	項目	外部評価	
			自己評価 実施状況	外部評価 実施状況 次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご自由に電話を利用いただいている	
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	級友部の温度や湿度は日に2回計測を行い、快適な環境になるよう管理している	リビングは広く、開放感がある。フロアごとに、ソファ、テレビ、机のセットを背を向ける形で2ヶ所作り、1人になったり、気の合った方同士で思い思いに過ごしたりすることが出来るように配慮している。音量・光量は随時調整しているほか、温度・湿度は計測して日報に記載している。
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テレビやソファを2か所に設置したり、和室やベランダ、食席などを点在させることにより好きな場所でくつろいで頂けるよう支援している	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた物品や調度品をお持ち込み頂け、居心地の良い空間になるよう支援している	居室は、エアコン、換気扇、収納のみ備え付けとなっている。寝たきりに近い人にも、アロマや鳥のさえずりCDをかけるなどして、1日の感覚を持ち続けられるように支援している。
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	お部屋は人それぞれの能力に応じて表札や写真などを掲示し、トイレの案内、ごみ箱などを分かりやすく表示している。	

# 目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム 神田園

作成日 平成27年 3月 13日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議の活用	ご家族会員をメンバーとし積極的な会議の場とする	メンバーを限定せず全てのご家族に参加をうながす為には7/11も実施する	1年
2	35	災害時の連携体制	この様子を協力が必要なかを明確に可。その上で訓練も実施する。	外部からの協力を念めて災害時マニュアルを作成してみる	1年
3					
4					
5					

注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。  
 注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。